

早いもので、今年も3月に入り、暖かく感じられる日も増えてきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？年度末でお忙しいことと存じますが、まだ肌寒い日もありますので、風邪など引かれませぬ様、お気を付け下さい。



「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」—医学教育分野別評価制度発足に向けて—に参加しました。

2月23日に東京医科歯科大学において、「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」—医学教育分野別評価制度発足に向けて—が開催され、医学教育学講座の3名の教員と法医学講座 藤宮龍也教授とで参加してきました。2023年問題を端緒とする国際認証と呼ばれる医学教育の分野別評価を本医学部は、2019年度に受審することが決まっていますが、その受審に関する公開シンポジウムとなります。東京医科歯科大学の鈴木章夫記念講堂(M&Dタワー2階)において、「医学教育分野別評価制度の確立と経緯」と題し、日本医学教育評価機構(JACME)理事の奈良信雄先生による講演が行われました。各国の評価機関(我が国では、JACME)は、世界医学教育連盟(WFME)から正式に認証を受ける必要がありますが、現在審査を受けている段階であり、順調に進めば、2017年4月より、JACMEによる認証評価が正式に実施されることとなります。これまでにトライアル認証評価として、既に複数の大学医学部が受審していますが、2017年4月以降に改めて、認証評価の判定が行われるとのことでした。午後からは、既に受審を終えた5大学医学部(横浜市立大学医学部、順天堂大学医学部、岡山大学医学部、日本医科大学、東京医科大学)の担当教員による事例発表が行われました。各先生方の実際に認証評価を受審して得られた経験に基づいた意見や受審準備の要点、改善点をお聞きし、より具体的に理解することができました。

本シンポジウムで得られた内容を本学での国際認証の準備に活かしていきたいと思っております。



医学教育豆知識

【参加型臨床実習の教育理論②】

前号に引き続き解説します。参加型臨床実習のもう一つの中心的理論的背景が、**認知的徒弟制(Cognitive Apprenticeship)**です。発達段階に応じた丁度いい難易度の課題が、効果的な段階的発達を促進するとして、その丁度いいレベルを**発達の最近接領域**と呼んでいます。つまり学習者の発達段階に応じて、頑張れば達成するくらいの課題を与えることが学習を促進するという事です。その丁度いい課題を与えること、またその課題が場当たりのではなく、学習の要求や発達に応じて、最近接領域で学習者に示すことが教員にとってのポイントとなります。



第111回 医師国家試験の帯同について

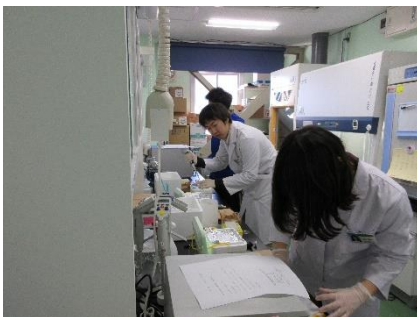
第111回 医師国家試験が、2月11日(土)～2月13日(月)の3日間にわたり、安田女子大学(広島市)にて開催されました。2月10日(金)の朝に、谷澤医学部長、白澤教授、松山教授から激励の言葉を頂き、本医学部を出発しました。医師国家試験対策委員の学生(3～5年生)と医学教育学講座の教員も医師国家試験に帯同するため、現地入りしました。各試験日とも、午前7時過ぎには、試験会場に向けてホテルを出発しました。試験会場へ帯同する学生は、駐車場の確保や、お昼の弁当の準備等を行いました。試験を終えて、午後6時前には全員ホテルに戻って来ました。ホテルロビーにて出迎え、声かけやお菓子、マスクの配布を行いました。冬真っ只中の寒い日が続きましたが、幸い、体調を大きく崩した学生もいませんでした。

関係者の皆様のご協力により、無事に全員、受験を終えることができました。有難うございました。そして、6年生の皆さん、国試、お疲れ様でした。皆さんの元に吉報が届くことを祈念しています。



2年生を対象とした実験体験コースを開催しました。

2年生を対象とした自己開発コースの準備コースとして、実験体験コースを2月3日から約3週間に渡り、計6日間行いました。今回は、医学教育学講座が主催し、講義棟B 4階実験室にて、ウェスタンブロット、細胞培養、PCR解析に関して行いました。参加者は、学内および海外の大学研究室で自己開発コースに参加する学生から構成され、参加人数が多いコースには、9名が参加しました。皆、モチベーションが高く、熱心に取り組んでいました。実験体験コースは、実験操作の習得に重点を置いています。実験プロトコルの意味(なぜ、この実験操作が必要なのか、なぜこの順番で実験を行う必要があるのか等)もできるだけ考えてもらう様にしました。今夏から、それぞれ配属先で自己開発コースが始まりますが、今回学んだことを足掛かりとして、さらに深く、目的意識をしっかりとって、研究に取り組んでほしいと思います。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp